

私は自分から積極的に人に話しかけることが苦手でした。しかし、さまざまな授業や演習から、言葉や言葉以外の方法、接遇、その方の思いに目を向けた関わり方などを学び、少しずつコミュニケーション技術を身に付けることができていると思います。

1年次の実習では、言葉を発することが難しいご利用者に対して、ジェスチャーを読み取ったほか「はい」「いいえ」で答えられるよう工夫することで、利用者の笑顔や思いを引き出しながら会話を楽しむことができ、とてもうれしく思いました。

介護福祉士は対人援助職であり、コミュニケーションは大切な技術の1つです。これからも多くの人と関わりを持ち、専門職としての技術を高めていきたいです。



北海道介護福祉学校 2年
前田瞳可さん（栗山高等学校卒業）
コミュニケーションの大切さ

栗山高校では、平常講習や夏休み・冬休みの講習、さまざまな模擬試験、資格取得試験など進路を実現するための環境が整っています。また、町から補助制度があり、各種検定が半額になるの、いろいろと受検をすることができ

そして、先生方は勉強や部活動、進路について悩んでいる生徒の相談に積極的に乗ってくれます。そのため、進路実現に向けて安心して力を入れることができます。

私は、弓道部に所属しており、部員が少ないにもかかわらず、毎年全道大会に進出していきます。練習時間は長くて大変ですが、とても明るく楽しい雰囲気です。

栗山で学ぶ介護福祉学生と栗山高校生の学校生活を紹介します。



栗山高等学校 3年
堀井千穂さん（栗山中学校卒業）
安心して進路を実現

No.48 こんにちは! 町史編さん室です

栗山の感染症史断片——過去から学びと

新型コロナウイルスの流行で、今年は異常な春を迎えました。4月には緊急事態宣言が出され、解除された後も、未だ油断のできない日々が続いています。ステイ・ホームの間に、過去に栗山で発生した感染症の記録を調べてみました。

開村以来、医療体制が不完全な中で、天然痘や腸チフスなどの感染症が度々発生、大正3年（1914年）には村の隔離病舎が開設されています。中でも大正7年（1918年）から世界的流行となったインフルエンザ（通称「スペイン風邪」）では、国内で数千万人が感染し、数十万人が命を落としました。栗山も例外ではなく「大正七年十月より寒冷の候に際して、悪性の感冒流行して猖獗を極め、罹病者続出して学校は休業を続け村の死亡者は七十四名に達した」と、昭和15年（1940年）の「角田村史」には記されています。

その後、昭和35年（1960年）に道内で猛威を振ったポリオでは、栗山の感染者数



村田三次村長、余村医師ら感染症対策に携わった村幹部たち
（角田村隔離病舎前・大正3年）

町史編さん室
☎ 78220

はわずかに4人に抑えられました。産業構成や人口、生活様式など疫学的な条件はありますが、20年間で栗山の公衆衛生面の改善もあったことでしょう。

道内では新型コロナウイルスの第三波が予想されています。この春に学んだ対策とともに、過去の歴史も念頭に置いて、マスクの不要な日常を取り戻したいものです。（青木）



■あなたの声をしっかりキャッチ！
1枚のはがきが明日のくりやまを変える!!

くりやま
キャッチボイス



開拓記念公園内の破損した枕木は全て撤去しました。

角田開拓記念公園内の中央付近に等間隔で埋め込める枕木のようなものが壊れて、穴のあいている所があり危険です。子どもの足がはまるくらいのはがきです。安全確認をお願いします。

回答 危険な箇所は早急に修繕します。

現地を確認したところ、枕木の一部分が破損し危険な状況になっていましたので、早急に補修対応します。安全に利用できる公園となるべく、安全確認を強化していきますのでご理解をお願いします。今後も公園などの不備がありましたらご連絡願います。

要望 開拓記念公園に設置している枕木

全町一斉清掃と狂犬病予防接種が直前で中止になりましたが、広報車の放送が聞きとれませんでした。以下、提案です。

① 広報車の放送内容は一つに絞る。（2つの事を一緒に言われると聞きとりづらい）

② 放送アナウンスをもう少しゆっくりする。

③ ホームページやWEBで告知をおこなう。

ご検討願います。

回答 放送アナウンスの内容などを考慮していきます。

① 広報の放送内容について、急を要する対応から人員・車両の関係もあり、事業の中止を同時にアナウンスさせていただきましたことをご理解願います。

② 放送アナウンスは、今後、話す内容および車両のスピードを考慮して対応したいと思っています。

③ 告知について、広報車巡回と合わせて町ホームページ「新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ」で事業の中止を記載しています。

提案 広報（周知）

皆さんからのご意見をお待ちしています！

- ① 広報折り込みの専用はがきで！
2カ月に一度、広報に折り込まれる専用はがきを切り取って、必要事項を記入してポストに投函。（切手不要）
- ② FAXで！
はがきをそのまま、またはお好きな用紙に必要事項を記入して、「72-3179」に送信。
- ③ ホームページ専用フォームで！
下記アドレスから
<https://www.harp.lg.jp/SksJuminWeb/EntryForm?id=SfQnm4ig>
または町ホームページトップ画面の注目情報（画面右側）から専用フォームにアクセス。

